

## 平成25年度森林計画の策定等に関する検討会議事概要

- 1 日 時 平成26年3月7日(金) 13:30~15:35
- 2 場 所 東北森林管理局 2階 大会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議事概要

### 【検討会の検討結果】

- 地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画の策定及び変更については賛同ということです承する。

### 【主な意見】

- 木質バイオマスの利用にあたって民有林との連携により地域産業振興に結びつく、市民を巻き込んだ仕組みづくりをお願いしたい。
- 国有林野の管理経営についての膨大な事務量に対して、次世代に森林を引き継ぐためには、適切な人員配置が必要。
- 溪畔保全プロジェクト林については、モニタリングを実施しつつ推進していただきたい。
- 伐採量算定の考え方をより分かりやすく示すよう工夫してほしい。
- 森林の公益的機能維持は非常に重要であり、この取り組みについて国民にPRしていくことが重要である。
- 森林環境教育については、国民の期待が高いと思うので、積極的に推進していただきたい。
- 造林コストの低減など、国有林が主導して民有林をリードしていただきたい。
- 境界の明確化や所有者が不明な不在村地主対策等の問題に対し、民有林と連携して対処していただきたい。
- シカの問題については、被害拡大を未然に防ぐことが重要である。これまでの被害についてしっかり分析して、被害拡大の兆候を捉えていただきたい。
- 国、県、市町村、民間などが連携して海岸防災林を育成できるよう、さらに議論を進めていただきたい。

平成25年度 森林計画の策定等に関する検討会 出席者名簿

委 員 氏 名		森 林 管 理 局 関 係 者 氏 名	
岩手大学 農学部 教授	おか だ しゅう じ二 岡 田 秀 二	局 長	くろかわ まさみ 黒 川 正 美
秋田県自然保護団体連合 代表理事	おく むら きよ あき 奥 村 清 明	次 長 ( 青 森 事 務 所 長 )	いしだ ゆうじ 石 田 祐 二
公募委員	おや かわ れい こ子 親 川 麗 子	計 画 保 全 部 長	なかむら たけし 中 村 毅
秋田県木材産業協同組合 連合会 専務理事	き 木 むら みつ 木 村 充	森 林 整 備 部 長	いづか あつし 飯 塚 淳
森林総合研究所 東北支所長	こま き たか あき 駒 木 貴 彰	企 画 調 整 課 長	まつ き さとし 松 木 聡
F・Fネットあきた南 事務局	さ とう ま り こ 佐 藤 万 里 子	計 画 課 長	はやし のぞむ 林 視
公募委員	すが わら まさ かつ 菅 原 正 勝	保 全 課 長	つない ぐち たけ し 津 内 口 雄 士
宮城県森林組合連合会 代表理事専務	すず き のぼる 鈴 木 登	治 山 課 長	きし よし のり 岸 功 規
青森県林業協会 理事	す とう ひろ あき 須 藤 広 明	森 林 整 備 課 長	わやま ふ み よし 和 山 二 三 吉
岩手県森林・林業会議 専務理事	ち だ いく ろう 千 田 育 郎	資 源 活 用 課 長	つの かけ ゆうきち 角 掛 勇 吉
東北大学大学院 生命科学研究所 教授	なか しずか とおる 中 静 透	技 術 普 及 課 長	あおやま いちろう 青 山 一 郎
山形大学 農学部 教授	の ほり よし ひろ 野 堀 嘉 裕	下 北 森 林 管 理 署 長	たんだう たくじ 丹 藤 卓 司
青森大学 薬学部 教授	ふじ た ひとし 藤 田 均	岩 手 北 部 森 林 管 理 署 長	やまだ かず お 山 田 和 夫
秋田県立大学 生物資源科学部 教授	まき た あき ふみ 時 田 明 史	宮 城 北 部 森 林 管 理 署 長	い だ ゆう いち 飯 田 裕 一

※敬称略

※委員は五十音順に掲載